

# IFPW第20回北京総会に向けて

(International Federation of Pharmaceutical Wholesalers 国際医薬品卸連盟)

IFPWは、1976(昭和51)年11月、米国ラスベガスで開催されたNWDA(全米医薬品卸協会)の年次大会に続いて開かれた、世界主要13か国の卸の代表者による設立準備会議によって結成されました。日本卸はIFPW設立の主要メンバーとして、この準備会議に5名の代表を送りました。

設立の背景にはいくつかの理由がありますが、1969(昭和44)年のWHO(世界保健機構)の勧告により、各国での医薬品規制の強化、保険制度の経済的破綻を主因とする行政変化への対応が、国情の相違がありながらも世界の卸企業の共通課題であり、「各国の厚生行政施策が医薬品卸業に及ぼす諸問題の情報交換」も当初の設立目的の1つでした。

IFPWの運営は世界の5地域からの地域代表により役員会が組織され、2年ごとに総会を開催することになりました。第1回総会は1977(昭和52)年に西ベ

ルリンで開催され、日本からは6名が参加しました。

日本で開催された総会は、1983(昭和58)年10月に第4回京都総会、1992(平成4)年11月に第9回名古屋総会の2回になります。

現在は、世界の4地域(アジア・豪州、欧州・アフリカ、南米、北米)の医薬品卸団体及び卸企業等26か国43社が加盟しており、本年10月には次の日程により北京市(チャイナワールドホテル)において第20回総会が開催されます。

総会のビジネスプログラムには日本から3名のスピーカー、パネラーが登壇致します。

開催期間 2014年10月20日(月)～21日(火)  
開催地 中国・北京市  
開催会場 チャイナワールドホテル(シャングリ・ラ)

## 10月20日(月曜日)

- 09:00-09:15 開会挨拶
- 09:15-10:30 IMS世界の産業動向
- 11:00-11:45 製薬企業の観点からジェネリック医薬品について
- 11:45-12:30 ジェネリック医薬品の深掘り
- 14:00-15:30 卸企業-大いなる可能性&複雑性  
スピーカー: 渡辺紳二郎(㈱アトル社長)
- 16:00-16:45 製薬企業の観点からブランド医薬品について
- 19:00-22:00 歓迎レセプション&ディナー(中国式緑日)



開催会場のチャイナワールドホテル



人民大会堂

## 10月21日(火曜日)

- 09:00-09:45 製薬企業の観点からバイオ・スペシャリティ医薬品について
- 09:45-10:15 バイオシミラー-いつ、どこで、どのように
- 10:15-10:30 IFPWインターナショナル・リーダーシップ・アワード
- 11:00-12:30 中国、日本、韓国の卸売市場における注目点  
スピーカー: 福神雄介(アルフレッサ(株)営業企画部長)
- 14:00-14:30 IFPW総会
- 14:30-15:30 世界の小売薬局の動向
- 16:00-17:15 流通の未来と卸売業界のグローバル化  
パネラー: 中北馨介(中北薬品(株)社長)
- 18:45-23:00 祝祭ディナー(人民大会堂)

なお、今回の北京総会の開催にあたり、IFPW本部(米国・ニューヨーク)からスポンサーの協力要請があり、卸連合会の賛助会員に対しまして広告協賛の依頼をしたところ、22社の製薬企業からご賛同をいただきました。

ご協力いただいた、製薬企業のロゴにつきましては、スポンサー企業として、IFPWホームページ、北京総会のプログラム、会場スクリーンに表示されます。ご協力に深謝いたすとともに、本誌にも掲載を致しました。

### 掲載されるロゴ

(五十音順)